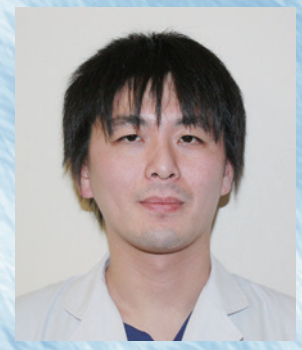
医療法人 並木会ニュース
なみき
2013.7 Vol.10

理念
愛をもって誠を尽くす
1.相手の立場・心情を尊重し、最善の方法を継続して提供する。
2.自らの行動に責任を持ち、職務心得に則り絶えず評価・反省を怠らない。

日本医療機能評価機構（シンボルマーク）
2010.7.25更新認定されました

総合診療内科

並木病院　内科　小林　出



この度、平成25年4月1日付きで、藤田保健衛生大学病院総合診療内科より、並木病院にお世話になることになりました小林　出（すぐる）と申します。

総合診療内科とはあまり耳慣れない言葉かもしれません。総合診療内科の意味がわからず心療内科や精神科領域の患者さんが来られることも多いです。

総合診療と似たような言葉に、地域医療、老人医療、プライマリケアなどがありますが、ここで、総合診療という言葉をWikipediaより引用してみます。

『総合診療科とは、医療における診療科のひとつで、あまりにも専門化・細分化しすぎた現代医療の中で、全人的に人間を捉え、特定の臓器・疾患に限定せず多角的な診療を行う部門を指します。また、外来初診で「症状（※異常所見がなく訴え症状）」のみの患者に迅速かつ適切に「診断」をつける科でもあります。近年の高齢化社会の進行によって、その存在意義が大きくなっています。以下続く…。』

欧米では“General practitioner（GP）”と呼ばれる初期診療を行う分野がありますが、かつての日本においては、このGPに該当する診療科は病院には存在せず、市井の医院がこれに対応していました。厚生省・文部省の後押しにて、1978年佐賀医科大学（現　佐賀大学医学部）に最初の総合診療部が創設され、内科・外科といった主要な科のみならず、精神科・皮膚科・整形外科・小児科など幅広い領域での初期診療を行うことが特徴でした。しかし、その後も類似の科がいくつかの大学に設置されましたが、初期診療ののち、専門科に受診する必要性がある場合も多く、この間の連携がうまくいかないなど、京都大学のように、一時的に閉鎖に追い込まれるなど、なかなか医療界では理解されず定着が困難でした。しかし、国も医療界も、医師不足の折、全身を診察できることの重要性を理解し、総合診療というものの医療における重要性を理解し、ついに、昨年12月26日、厚生労働省の「専門医の在り方に関する検討会」において、19番目の基本領域の専門として「総合診療科」が決まりました。

体調不良、ワクチンなどの予防医学、海外旅行・出張前の相談、生活習慣病の改善・生活指導、不眠・うつ病などのメンタル疾患の対応、ちょっとしたケガ、骨折、火傷などへの対応など、なんでも気軽に相談できる総合診療医の必要性が、これから増えてきますが私自身もそのような医療ができるように心がけていきたいと思います。

並木病院は地域の発展を応援しています。

トピックス

並木会60周年を迎えて

平成25年4月、並木会は地域の皆様のご支援とご協力を頂き60周年を迎えることができました。昭和28年戦後の混乱がようやく収まりを見せたころ、名古屋市南区に病床2床の千葉医院（産婦人科）を開設し地域医療を開始。現在は、平成10年に自然環境豊かな天白区に移転した212床の並木病院を医療の中核として、透析、デイケアーの並木クリニック、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、グループホーム、介護老人保健施設（4か所）、介護老人福祉施設（3か所）が運営され1日に1000人以上の方にご利用いただいております。

日進月歩の医療の発展・日本経済事情の激しい変化に伴い、国民年金・医療保険・介護保険の存続の危機も見え始めた現在、日本国民の一人一人が大小さまざまな決断を迫られることとなってまいりました。ことに来年の医療・介護保険の改正はさらに大きな波となって国民の生活を圧迫することになるかもしれません。

いずれにしても並木会は開院以来の理念「愛と誠」を職員一同の共通の認識として治療中心の医療より生きがいのある療養、その人らしい人生を視野に入れながら高齢者社会に対応し、今後も地域の医療と福祉に貢献していきたいと念願しております。

60周年記念のパーティーでは職員の家族も参加し、東海ラジオパーソナリティーの天野芳春さんの司会で、和太鼓サークル（メディコ守山）職員がお祝いをし盛り上げ、イリュージョンタマミ＆みゆきマジカルランドで子供達の瞳をくぎづけにしました。

並木病院 部門紹介

■薬剤科

科長　坪井　憲江

当院薬剤科は常勤2名、非常勤3名の薬剤師で日頃の業務にあたっています。

主な仕事は入院患者様の内服薬、注射薬調剤、薬剤管理指導、外来調剤です。

平成23年9月より電子カルテが導入されてからは、患者様の薬歴・検査データなどを即座に入手することが出来るようになったため、調剤業務、患者様への服薬指導はもちろん、多職種と行う合同カンファレンスも円滑になりました。

最近では、医師、看護師、栄養士らと共に褥瘡（（じょくそう）床ずれ）治療に取り組んでいます。長期にベッド上で過ごされ、高齢で栄養状態が悪くなった患者様は、褥瘡が出来やすい状態になっています。褥瘡を作らず、少しでも快適に過ごして頂けるよう予防を考え、また適切に薬物治療を行われるよう薬剤師が介入しています。

薬剤科窓口では、『お薬手帳』の携帯をお勧めしています。他の病院で処方された薬との飲み合わせ、副作用、アレルギーを知ることはもちろん、東日本大震災の時、服用していた薬を知るのにお薬手帳がとても役に立ったと聞いています。

昨今ではインターネットなどでも簡単に薬や健康食品などが入手出来る時代となり、それらの中にも服用している薬剤との飲み合わせが悪いものもあります。そんな質問にもお応えしたいと思っていますので、気軽にお声をかけて下さい。

並木病院 行　事

■夏祭り　平成25年8月21日(水)

今年も楽しい夏祭りの季節になりました。シャンソン歌手　遠藤信子さんのコンサートが開催されます。ご家族、ご近所どなたでもご自由にご参加下さい。お待ちしております。

掲載写真は2011年8月撮影

外来診療

H25.7.1時点。変更する場合もありますので、お問い合わせください。

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00〜12:00	Ⅰ	内科	内科	内科	内科	内科	内科
		循環器科	神経内科	神経内科	消化器科	神経内科	心療内科
	Ⅱ						
	Ⅲ						
	検査	胃カメラ	胃カメラ	胃カメラ	胃カメラ	胃カメラ	
		腹部エコー	腹部エコー	腹部エコー	腹部エコー	腹部エコー	
		心エコー			心エコー		
午後 13:00〜17:00	Ⅰ	内科	皮膚科	内科	内科	内科	
		神経内科	呼吸器科	リハビリテーション科		心療内科	
	Ⅱ	内科				リハビリテーション科	
		神経内科					
		人工透析	人工透析	人工透析	人工透析	人工透析	人工透析

知って得する！まめ知識

蒸し暑い7月になりました!! 脱水症、熱中症を予防する為に必要な水分補給! お茶やスポーツドリンクではなく、経口補水液が最適です。

経口補水液は薬局等で商品が発売されていますが、家庭でも作ることができるのでご紹介します。

・砂糖　40g(上白糖大さじ4と1/2杯) ・食塩　3g(小さじ1/2杯) ・湯さまし　1L
以上３点を混ぜ合わせるだけです。

暑い夏! 脱水症、熱中症予防に、適度な水分補給と規則正しい食生活を心がけましょう。

※経口補水液を“おいしい”と感じると脱水症の可能性が高いとされています。

介護職員初任者研修開校

介護保険法施行規則の改正により、平成25年度（4月1日）より「ホームヘルパー2級養成研修課程」は「介護職員初任者研修課程」へ移行されました。並木会では週1回/土曜日コース・週2回/火、金曜日コースで介護職員初任者研修を開校しております。

平成25年6月11日に火、金曜日コースを開校しました。今後10月に土曜日コースを開校予定です。詳しい日程等についてはお問い合わせ下さい。

厚生労働省教育訓練給付制度対象講座

担当　永井・加藤
TEL 052-848-2000

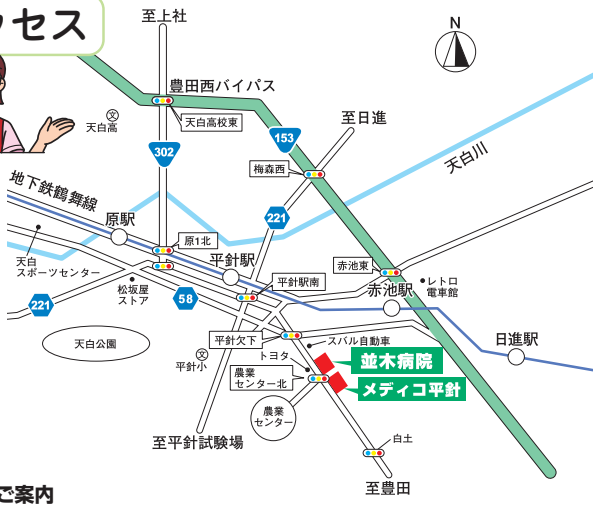
職員募集

■看護師、介護職員

担当
看護部　苅田

24時間保育施設あり

アクセス



■交通のご案内

●公共交通機関でお越しの場合
地下鉄鶴舞線、平針駅または赤池駅より徒歩10分

医療法人　並木会

並木病院

TEL(052)848-2000　FAX(052)848-2020

〒468-0013 名古屋市天白区荒池二丁目1101番地

関連施設

■ケアプランセンター平針なみき
ヘルパーステーション平針なみき　TEL (052) 848-2067
■並木クリニック……TEL (052) 691-2000
■グループホームほっと館なみき　TEL (052) 691-2515

介護老人保健施設
■メディコ阿久比……TEL (0569) 48-1156
■メディコ春日井……TEL (0568) 88-6000
■メディコ守山……TEL (052) 736-5585
■メディコ平針……TEL (052) 802-0023

特別養護老人ホームもありますのでご相談ください。

ホームページ:http://www.namiki.or.jp/

GREEN PRINTING JFPI P-B10058
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。
PRINTED WITH SOY INK
環境に配慮して大豆油インキを使用しています。